

【広報】 カザフスタン国への新型コロナウイルス対策支援

カザフスタン政府の要請に応じ、カザフスタン国保健省高官（Aktayeva保健副大臣他専門家）と国立国際医療研究センター病院（国際感染症センター大曲センター長）とのテレビ会議による意見交換を、Medical Excellence JAPAN（MEJ）サポートのもと実施しました。



当日祝日だったカザフスタンと多地点のテレビ会議



一点一点丁寧に対応される大曲先生

【背景】

新型コロナウイルス（COVID-19）の罹患患者の増加が見込まれているカザフスタン国にて、医療的、社会的な対策の整備が大きな懸念事項となっている。先んじて対策に取り組んできた日本からの指南を希望として、カザフスタン国の保健省から大使館経由でMEJに支援要請があった。MEJ理事近藤達也のネットワークを活用し、大曲 貴夫先生（国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター センター長）のご厚意で先方保健省関係者と協議の場を2020年3月24日に国立国際医療研究センターにて持つことができた。

【開催日時・場所】

- 2020年3月24日（火）18:00～19:20
- 国立国際医療研究センター AMR臨床リファレンスセンター内会議室

【日本側出席者】

- 大曲 貴夫 M.D., Ph.D.: 国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター センター長、AMR臨床リファレンスセンター センター長、日本感染症学会 感染症専門医・指導医、日本内科学会 認定内科医、ICD制度協議会 インфекションコントロールドクター、日本化学療法学会 抗菌化学療法指導医
- Yergalym Nursalimuly (Mr.): Minister – Counsellor, Embassy of the Republic of Kazakhstan
- Suyundikov Bakitzhan (Mr.): – Counsellor, Embassy of the Republic of Kazakhstan
- MEJ業務執行理事 北野選也、事務局 課長 小林光（Medical Excellence JAPAN）

【カザフスタン側の出席者】

- Lyazat Aktayeva (Mrs.): Vice-Minister of Healthcare of the Republic of Kazakhstan
- Ayzhan Yesmagambetova (Mrs.): Director of the Department of Public Health Policy of the Ministry of Healthcare of the Republic of Kazakhstan, Chief State Sanitary Physician of the Republic of Kazakhstan
- Damir Kobzhasarov (Mr.): Director of the National Public Health Centre of the Ministry of Healthcare of the Republic of Kazakhstan
- Serzhan Aydosov (Mr.): Deputy Director of the National Public Health Centre of the Ministry of Healthcare
- Baurzhan Zhusupov (Mr.): Vice-Rector on research activity of Asfendiyarov Kazakh National Medical University of the Republic of Kazakhstan
- Dinagul Bayesheva (Mrs.): Head of the department of children's infectious diseases «Astana Medical University»
- Manar Smagul (Mrs.): Head of the Infectious and Parasitic Disease Prevention Division of the Scientific Practical Center for Sanitary and Epidemiological Expertise and Monitoring

【主な協議内容】

- 日本国内でのコロナウイルス対応状況
- 医療体制（診断、治療、管理）
- 罹患患者の取り扱い
- 疾患症状の推移や傾向
- テストのプロセス
- 処方
- （中国、イタリアやスペインに比した）日本社会の対応

★医療従事者派遣や医療器材や物資の支援要請の話が挙がったが、先方保健省から厚労省への正規ルートでの依頼を打診した